

質疑および一般質問

6月14日、15日、16日には、19人の議員が、議案に対する「質疑」や市政に関する方針や考え方などについて質す「一般質問」を行いました。質問と答弁の内容の一部を要約して紹介します。

山元 宏和 草政会



待機児童ゼロ達成の経緯と将来展望について

議員 平成24年4月に待機児童が91人出たことから、緊急対策として施設整備を進め、今年4月に待機児童をゼロとした。その経緯について伺う。

市 平成26年度には緊急対策として施設整備などを行い、定員を238人増やし、平成27年度は前年度と比べ定員を276人増やし、弾力運用を行った結果、平成28年4月時点で待機児童がゼロとなった。今後は、人口動向などを見ながら施設整備を進め、待機児童の解消を図っていく。

認定こども園化について

議員 認定こども園の整備の進捗状況と検証および評価について伺う。

市 平成28年4月に笠縫東こども園などを開園し、平成29年度には（仮称）草津中央認定こども園を整備していく。検証と評価の体制については「幼保一体化モデル園ワーキング部会」で検証と評価を行い、来年度以降の参考にしていく。

その他の質問 ・病児保育について
・子どもの貧困・虐待について等

八木 良人 市民派クラブ



（仮称）大路認定こども園について

議員 予定地における問題点、①ビルに囲まれ自然や緑が少ない教育環境、②送迎による交通渋滞の予想、③隣接マンションへの説明が未実施であることについて伺う。

市 ①自然環境よりも地元とともに育んだ歴史が大事な側面と考え予定地を選定した。②周辺道路へ影響が出ないように関係機関と協議調整を行う。③騒音問題なども周辺住民への丁寧な説明を実施していく。開園後も公私連携協定に基づき市の関与を継続する。

草津川跡地沿いに湖岸への新交通(LRT④)の整備について

議員 草津川跡地沿いにLRTを整備することで、より広範囲な活性化や観光客誘致につながると考えるが、市の所見を伺う。



市 草津駅を中心に重点的な活性化政策をすすめ、医療・福祉・商業・住居のまとまった立地を推進し、郊外部からはバスなどの公共交通により中心へのアクセスを目指しているが、現状の公共交通は課題が多く、LRTは多額の費用を要することから難しいと考えている。

その他の質問 ・認定こども園の民営化について
・草津駅前の治安悪化への対応について等

棚橋 幸男 草政会



3期目ロードマップ②策定について

議員 第5次草津市総合計画第3期基本計画のリーディング・プロジェクト③について伺う。

市 第2期基本計画で位置付けた、「草津川跡地の空間整備」、「中心市街地の活性化」、「コミュニティ活動の推進」の3つのリーディング・プロジェクトについては、第3期基本計画の策定に当たり、その方向性を引き継いでいくよう考えている。また、第2期基本計画の策定後に生じた課題に対応する事業も、新たに加えていくことを検討している。

ハイウェイオアシス構想について

議員 構想の実現に向け、地域再生計画へ位置づけることについて所見を伺う。

市 平成28年4月に交付金等の内容が変更されたことに伴い、原則としてソフト事業が交付対象となったことから、ハード整備であるハイウェイオアシス構想を地域再生計画によるメニューで位置づけることが困難となったが、構想の実現に向け、他の制度を模索し、検討していく。

その他の質問 ・南草津プリムタウン土地区画整理事業について等

中島 美德 草政会



地域包括支援センターと地域との関わりについて

議員 地域包括支援センターは、中学校区に一つであるため業務が煩雑である。小学校区で支援する「草津市版地域包括支援」の考えについて伺う。



市 「草津あんしんいきいきプラン」において、小学校区を最小単位の「老上地域包括支援センター生活基盤と捉え、高齢者へのきめ細やかな支援や関係機関との連携を図り、「学区の医療福祉を考える会議」の開催や民生委員・児童委員との交流会を行い、地域特性を活かした相談支援のネットワークを構築していく。

民生委員・児童委員と市民センターについて

議員 民生委員・児童委員に、福祉に関する相談や関係機関とのつなぎ役といった活動を市民センターでして頂く事は可能か。
市 福祉に関する相談は、プライバシー等配慮すべき内容が多く、従来からの訪問活動を基本とした一人ひとりに寄り添った対応が望ましいと考えるが、地域福祉の重要性がますます高まる中で、民生委員・児童委員等の皆様が市民と市の関係部署とのつなぎ役として活躍して頂けるよう環境整備に努める。

その他の質問 ・子育て相談センターの体制について
・小児救急医療の体制強化について



遠藤 覚 くさつ維新の会



共通投票所^⑨の設置に係る課題等について

議員 公職選挙法改正により、投票率向上を目的とした共通投票所の開設が可能となったが、設置に対する課題と解決できる時期について伺う。

市 共通投票所が投票率向上につながると認識している。設置するには、各投票所をLAN回線^⑩での接続や投票システムの導入が必要であり、多額の費用が必要となる。また運用面での課題も多い。直近選挙から導入する自治体を参考に研究を進め、慎重に検討を行っていく。



フェリエでの期日前投票所の案内

健康都市づくりと地域包括ケアシステムの連携について

議員 健康寿命の延伸を目指す健康都市づくりの施策と、その後の介護・医療サービス（地域包括ケアシステム）の施策との連携について伺う。

市 健康都市づくりには、地域包括ケアシステムの施策に加え、まちの基盤整備や生涯を通じた健康づくり等予防の強化が必要である。また、地域包括ケアシステム構築にも、生活習慣病予防・介護予防・社会基盤整備等が重要ある。それぞれの施策を推進するために、連携を図り、一体的に取り組んでいく。

その他の質問 ・『健康都市づくり』と『地域包括ケアシステム』が目指す本市の姿とは 等

●平成28年9月定例会の開催予定●

月	日(曜日)	内 容
9月	2日(金)	本会議(開会)
	13日(火)、14日(水) 15日(木)	本会議(質疑および一般質問)
	16日(金)	総務常任委員会
	20日(火)	文教厚生常任委員会
	21日(水)	産業建設常任委員会
	23日(金)	予算審査特別委員会
	26日(月)、27日(火)、 28日(水)、29日(木)	決算審査特別委員会
10月	3日(月)	本会議(委員長報告、採決、閉会)

(本会議は10時、委員会は9時30分開会予定です。)

皆様の傍聴をお待ちしております。また、インターネットでのライブ中継も草津市議会ホームページでご視聴いただけます。



草津市公認マスコットキャラクター「たび丸」

西垣 和美 公明党



市民センターの指定管理における課題や今後の支援について

議員 公民館機能の方向性やまちづくりに地域福祉の視点が今後ますます必要となることから住民福祉活動計画と地区計画との連動について

市 今後も地域の学習拠点であり、豊かな学びの場としていきたい。地域福祉を進めるうえでまちづくり協議会の役割は大きいものと考え、両者の計画の整合が図れるよう、これまでから調整頂いている。

議員 指定管理者にならない場合の不利益の有無と財源措置にどういう違いが生じるのか、また指定管理移行後の市の職員の担当制による人的支援について

市 地域の実情により指定管理者となられない協議会についても不利益にならないようにしていきたい。財源措置については、地域

まちづくり



一括交付金や地域応援交付金等については同じように交付していきたい。人的支援については、地域と市のパイプ役の(仮称)地域コーディネーターを配置する予定。

その他の質問 ・草津市立地域まちづくりセンター条例について

宇野 房子 市民派クラブ



草津市立地域まちづくりセンター条例について

議員 地域まちづくりセンターの使用者制限について、反社会的な行動をするヘイトスピーチへの対応について伺う。

市 5月に制定され、6月3日に施行した「ヘイトスピーチ^⑪対策法」の付帯決議の確認はできていないが、国の動向に沿い、相談体制の整備、教育の充実、啓発活動については各部署と情報交換をし、適切な対応に努める。法制化を重く受け止め、使用許可制限に該当していただくことであれば対応をしていく。

総合教育会議の成果について

議員 市長が教育委員会にかかわり、その大綱を市長が作成し召集され、草津市の教育について議論されているが、具体的な成果はどのようなものか。

市 ICT推進では、アナログとデジタルとを合わせたハイブリットな学習を進める草津型アクティブラーニングを総合力で推進していくことを確認し進め、また地域協働学校の思いを再確認でき、全庁的な共通理解を深めるための広報「協働通心」の発行は成果であると考えている。

その他の質問 ・まちづくり協議会の運営について